

名古屋市博物館と商店街

写真は美しい桜の花と新緑に包まれた名古屋市博物館である。3月末から万博記念として、ルーブル美術館所蔵「古代エジプト展」が開かれており、普段より大勢の人が歩いている。博物館に日曜日の朝早く行ったが、すでにかなり混雑していた。「日本初公開、名古屋一番乗り」だけあり、興味深い展示内容であった。



博物館は地下鉄の桜山から近く、景観に配慮した庭も整備され、アメニティのある貴重な文化施設である。この通りに「博物館前商店街」があり、滝子商店街などとは違って人通りも多く活気がある。地下鉄の駅があり、市大病院と博物館により人の行き来も多い。それと個性的な店がいくつかあり、商店街の雰囲気華やかにしている。

その代表格が写真にある「山田餅本店」である。いつ行っても客が途切れることがなく、安くて美味しい饅頭が飛ぶように売れていく。大福餅や水饅頭などを買うために、大学の帰りによく立ち寄る。餅屋さんだけあって、餅はもちろん美味い。何年か前に社会調査実習で「博物館前商店街」をとりあげた時に、ご主人が組合の会長をされており、大変お世話になった。忙しい中で、大学でやった報告会にも来ていただいた。ご主人と奥さんの人柄もあり、その時から山田餅ファンになった。



行列ができる店として、「メガネ屋」の看板を掲げた店がある。板東英二の番組でも紹介されたが、メガネではなく野菜や果物などを店頭に並べて売っている。とにかく、レジには多くの人がいつも列をなしている。それと最近よく買い物に行くのが、「クック瑞穂」という市場の魚屋である。大好きな刺身を買って帰るのが楽しみになっている。スーパーで買うより安くて美味しい。また新鮮なマグロを買って帰ることにしよう。

(5月1日 記)